

第1号議案

平成22年度事業報告

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

1. 概 況

世界を揺るがした米国の金融危機に端を発した世界不況から2年が経過し、多くの先進諸外国においては復興基調にあるものの、我が国経済にとっての平成22年度は、回復感の乏しい1年であったといえる。平成22年当初に発表された日銀甲府支店の短観DIにおいては、全産業で-22ポイントと（前期比7ポイント上昇）改善し、「県内景気は、緩やかに持ち直している」と評価したものの、秋口には、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷により、「景気は緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる」とし、年度当初の評価から比べ、先行きに不透明感を残したものとなった。

一方で、政府のエコポイント制度やエコカー制度等の経済対策や日銀による為替介入や量的緩和の対応などにより、危機的状況からの回避と若干の自律的回復の兆しが伺えるなど、経営環境好転の情勢も見え始めた。とりわけ、大手製造業を中心に新興国向け輸出の拡大やコスト削減効果により収益力が大きく改善し、一部の地域・産業では雇用の回復や設備投資の積極的な動きも顕在化してきていた。

しかし、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響は、これらの市場の勢いを削ぎ、日本経済全体に大きな影を落とす事態となっている。この未曾有の災害は、広範囲な被災規模に加え原子力発電所の被災に伴う放射能汚染という未経験の事故が重なり、社会経済全域を覆う不安感と経済活動への停滞感が増す状況となっている。

ICT産業においても、液晶テレビやパソコン等の在庫調整も落ち着き、スマートフォンの需要増、新たなクラウドコンピューティングやグリーンインダストリーへの対応が見込まれるなど景気回復傾向に期待が見え始めた矢先の災害であり、今後への影響を注視していく必要がある。

今日の情報通信技術業界は、安全・安心などに関する社会的要請など多様化高度化する利用者ニーズを受け止め、新たなICT技術サービスへの転換期にあり、既存サービスに付加価値を持たせたビジネス創出が求められている。

当協会では、このような環境の中、会員企業の経営の質的向上と経営基盤強化を目指し、「人材育成強化と産学官の連携及び他業種との交流拡大を運営の重点に据え、会員相互の共益事業の拡大や新事業の掘り起こし」に向け、積極的な活動を行ってきた。その結果、前年度に引き続き総務省からユビキタス特区事業（携帯電話利用による独居高齢者・軽度身体障害者向け緊急通報システムの開発と実証）の受託、或いは、県内研究機関が行う研究事業に新たに参画するなどの成果が生まれた。

当協会は、雇用貢献度を高く評価され、また地域の成長産業としてその可能性を期待されており、多方面からご協力ご支援を頂きつつ本県経済の発展に貢献できるリーディング産業を目指し、以下の事業を実施してきた。

2. 通常総会・理事会・定例会

【通常総会、2回開催】

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 6 月 21 日	平成 22 年度第 1 回総会（21 年度決算報告総会） 横内山梨県知事、山梨県議会議長、県議会議員、関係機関の方々、 ご来賓をお招きし開催いたしました。 ① 平成 21 年度事業報告の承認について ② 平成 21 年度収支決算書の承認について 原案通り承認された。	ホテル談露館
	参加人数（ 33 社 58 名）	
平成 23 年 3 月 14 日	平成 22 年度第 2 回総会 通常総会の開催を年一回に変更する定款変更について 原案通り承認された。	ベルクラシック甲府
	参加人数（ 13 社 15 名）	

【理事会、12回開催】

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 4 月 21 日	第 1 回理事会 ・ユビキタス見守りシステム事業について ・協会行事日程について	アイメッセ山梨
5 月 8 日	第 2 回理事会 ・5 月定例会・講演会について ・ランチミーティングについて	ホテル談露館
6 月 9 日	第 3 回理事会 ・平成 21 年度決算報告について ・ユビキタス特区事業完了打上会について ・賛助会員の入会について	ホテル談露館
6 月 18 日	第 4 回理事会 ・平成 22 年度第 1 回通常総会について ・神奈川県情報サービス産業協会との交流会について	アイメッセ山梨

7月21日	第5回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・Y S A安心・安全見守りセンター（仮称）について ・スポーツ分野へのI C T活用について ・「ユビキタス特区事業」の今後の事業化について ・神奈川県情報サービス産業協会との交流会への対応について ・基本・応用技術者試験対策講座の開催状況について ・海外研修申し込み状況について 	ホテル談露館
7月27日	第6回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・Y S A安心・安全見守りセンター（仮称）の設置について 	アイメッセ山梨
9月1日	第7回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・横内知事立候補要請について ・（社）神奈川県情報サービス産業協会との交流会について ・柳田藤寿教授出版記念パーティーへの参加について 	YSK e-com 本社
11月1日	第8回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話を利用した独居高齢者・軽度身体障害者向け「緊急通報システム（ユビキタス見守りシステム）」の開発と実証についての経過について ・「山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ2010」への参加について ・ビジネスマッチング事業の実施について ・人材マッチング事業「I C T業界紹介セミナー（仮）」の開催について ・会員の退会について 	ホテル談露館
12月6日	第9回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・社団法人組織変更の取り組みについて ・都内活躍企業との意見交換 	東京開催
平成23年 1月24日	第10回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・役員改選について ・通常総会の開催時期について ・「山梨県I C T産業推進会議事務局の在り方について ・事務局員について ・新春講演会・賀詞交歓会について ・「山梨県地域情報化推進協議会」講演会への参加について 	ホテル談露館
2月16日	第11回理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度第2回総会の開催について ・一般社団法人への移行について ・賛助会員の入会について 	ホテル談露館

3月14日	第12回理事会 ・補正予算について ・職員の退職について	ベルクラシック甲府
-------	---	-----------

尚、神奈川県情報サービス産業協会との連携を図るため、第一段階として、合同理事懇談会を9月に小淵沢リゾートにて開催した。

【定例会、9回開催】

期 日	内 容	会 場
4月21日	4月度定例会（講演会） ・講演会「第9回ケータイ国際フォーラムについて」 講師：(株) Y s k e - c o m 取締役 広瀬 不二夫 氏 参加者（ 12社 35名）	アイメッセ山梨
5月19日	5月度定例会（講演会） ・講演会「中小企業の支援制度について」 講師：財団法人やまなし産業支援機構 中小企業振興部 次長 木之瀬 久司 氏 ・「新公益法人・選択のポイント」 講師：社団法人 情報サービス産業協会 総務部 総務課長 高松 康德 氏 ・ランチミーティング（情報交歓会開催） 参加者（ 17社 42名）	ホテル談露館
6月9日	6月度定例会 「ユビキタス特区事業」報告会 参加者（ 7社 44名）	ホテル談露館
7月21日	7月度定例会（講演会・納涼会） ・講演会「IT・情報の利活用により地域経済活性化を目指して」 講師：関東経済産業局 地域経済部 情報政策課 課長補佐 佐藤 深幸 氏 ・講演会終了後、納涼会・情報交歓会開催 参加者（ 17社 48名）	ホテル談露館
9月29日	9月度定例会 ・「地域イノベーション事例セミナー」 参加者（8社 30名）	アイメッセ山梨

10月8日	10月度定例会 ・「CEATEC JAPAN 2010」視察	幕張メッセ
	参加者（6社 17名）	
11月18日	11月度定例会 ・「2010テクノフェア&マルチメディアエキスポ」 視察研修	アイメッセ山梨
12月13日	12月度定例会（講演会） ・講演会「山梨元気プロジェクトのご紹介」 講師：リコージャパン（株） 社長室長 村松 正尚 氏	ホテル談露館
	・ランチミーティング（情報交歓会開催） 参加者（21社 32名）	
2月16日	2月度定例会（講演会） ・講演会 ドコモの「Xi（クロスビー）」戦略について 講師：NTTドコモ 山梨支店 ネットワーク部 課長 藤崎 英雄 氏	ホテル談露館
	・ランチミーティング（情報交歓会開催） 参加者（24社 38名）	

3. 委員会活動

1) 総務委員会（委員長：長坂副会長）

本年度も引き続き、当協会の社会的認知度向上、関係機関・他業種との連携強化、会の運営基盤の充実を図ると共に公益法人改革法への対応策の検討を行った。山梨県及び県内各大学・専門学校等のご協力を頂く中で、「産学官連携の促進」につとめた。また、山梨県 ICT 推進協議会との事業連携を視野に、会員への情報提供と研修機会等の運営に努めた。

例会の活性化を目的に例会終了後にランチミーティング（軽食での情報交歓会）を年何回か併設し、会員相互並びに関係者団体参加者との交流拡大を図った。

引き続き、山梨県から「ふるさと雇用再生事業」を受託し、その一環として、ICT活用地域産業活性化事業（ICTマッチング事業、人材マッチング事業）を実施した。

①会員の状況

県内において情報通信関連事業を展開されている企業を対象に協会活動への参加を積極的に推進してきたが、景気低迷の影響などから目標数を下回った。

区 分	期首会員数	新規加入数	退 会 数	期末会員数
正 会 員	51	0	2	49
賛助会員	5	2	0	7
特別会員	1	0	0	1
合 計	57	2	0	57

② 広報活動、外部機関との交流事業

- ・異業種交流による情報交換や関連イベントへの参加を通じ、当会の広報啓蒙に努めた。
機械電子工業会、I Tコーディネータ協会等との意見交換・情報交換を行う中で、協会活動の推進、啓蒙活動を行うとともに、(財)やまなし産業支援機構が主催する「山梨県主要企業交流会」(12月13日開催)に参加し、異業種企業との交流を図った。
- ・地元学生を対象に「I C T業界紹介セミナー」を山梨大学・山梨学院大学・県立大学・山梨県産業技術短期大学で開催し、魅力ある業界をアピールすると共に当協会の動向について理解を深めるようつとめた。
- ・県外情報通信関連企業との交流を図るため、「(社)神奈川県情報サービス産業協会」と合同理事会を開催すると共に、新たに「首都圏情報団体協議会」に加盟し、隣接県の情報サービス産業団体との交流を深めることとした。
- ・「山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ2010」に協会のブースを設営し(「I C T導入相談コーナー」を設置)、来場者に協会の営業内容・協会会活動案内チラシを配布し、イベント参加企業及び一般県民への知名度向上に努めた。

③ 賀詞交歓会

平成23年1月24日 ホテル談露館に於いて開催した。

- ・賀詞交歓会に先立ち、研修委員会による新春セミナーを開催した。
講師として、本県の高度情報化に取り組む県議会議員で構成する「e-Yamanashi 政策研究会」の先生方をお招きし、「新春に県政を語る」と題して、山梨県における各分野での「I C T利活用」について、先生方の得意分野における推進策や今後の取り組みをお伺いした。(参加者72名)
- ・引き続き、賀詞交歓会を開催し、森屋県議会議員、中澤企画部長、寺本情報政策課長、新藤教授からご挨拶を頂き、「e-yamanashi 政策研究会」の先生方、来賓の皆様と会員・会員社員との意見交換、情報交換が和気藹々の内に行われた。

参加者 会 員 51名

来賓出席 10名

- ・山梨県議会議員 森屋 宏 氏
- ・山梨県議会議員 山下 政樹 氏
- ・山梨県議会議員 鈴木 幹夫 氏
- ・山梨県議会議員 堀内 富久 氏
- ・山梨県議会議員 樋口 雄一 氏

- ・山梨県議会議員 安本 美紀 氏
- ・山梨県企画部 部長 中澤 正徳 氏
- ・山梨県企画部情報政策課 課長 寺本 邦仁子 氏
- ・山梨県企画部情報産業振興室 室長補佐 廣瀬 久文 氏
- ・山梨大学大学院教授 新藤 久和 氏

④ 公益法人法改正への対応について

社団法人の見直しについては、公益法人改革3法の施行を受け、関係機関の動向調査や検討をすすめ「協会の活動目的は、会員相互の共益事業を積極的に展開し、その成果を広く一般に公開することで公益の増進に寄与することが望ましい」との立場に立ち「柔軟な事業展開に適した組織形態」として一般社団法人を選択し、認可申請を行うことが理事会において承認され、平成23年度通常総会の承認に向け準備を進めてきた。

4. 研修委員会（委員長：鈴木理事）

国においては、地域のICTベンダーとICTユーザー企業との連携を深める中で、地域におけるIT需要は地域ベンダーが供給すること（ICT需要の治産地消）、県内中小企業のICT利活用の促進を目指してビジネスマッチング事業を推進しており、これに対応するため、会員企業のスキルや見識の向上を図るため、定例会の場を活用した講演会、各種研修会を開催するとともに、山梨大学、(財)やまなし産業支援機構、NPO法人ITコーディネータ山梨と連携し、会員企業の中堅技術職員を対象として、高度ICT技術研修を実施した。

また、山梨県と協働して、ICTを活用した地域産業のイノベーションを推進するため、地域ICTベンダーの技術者育成への支援とICTユーザー企業の技術レベルの向上を目指して「山梨県ICT人材育成事業」を実施することとし、山梨大学、山梨学院大学、甲府商科専門学校のご協力を頂き、会員及び県内企業のICT技術者（事務職を含む）を対象に、資格取得を目指した研修事業を実施した。

① 合同新入社員研修会

期 日	内 容	参加者	会 場
平成 22 年 4 月 8・9 日	新入社員のビジネスマナー研修 ・ 社会人としての心構え ・ 電話応対と接客マナー 他 講師 山梨県職業能力開発協会 局長 石原 一好 氏	20 名	人材開発センター

② 展示会視察研修

期 日	内 容	参加者	会 場
-----	-----	-----	-----

平成 22 年 10 月 8 日	「CEATEC JAPAN 2010」視察	17 名	幕張メッセ
---------------------	-----------------------	------	-------

③山梨県 I C T人材育成事業（県補助事業）

1) 山梨県 I C T人材育成事業推進会議

期 日	内 容	参加者	会 場
平成 22 年 4 月 13 日	第 1 回会議 ・ 事業及び設置要領について ・ 実施スケジュールの確認 ・ 各講座の受講者募集について	—	山梨大学
平成 22 年 11 月 2 日	第 2 回会議 ・ 基本・応用講座の進捗状況について ・ 高度 IT 技術者研修の決定 ・ 受講者アンケート（日別）について	—	山梨県庁

2) 基本情報技術者試験対策講座

期 日	内 容	参加者	会 場
平成 22 年 6 月 3 日～ 6 月 22 日	2 級 1 部試験対策講座 第 1 回～第 6 回 (7:00 p m～9:30 p m)	15 名	山梨大学
平成 22 年 7 月 5 日～ 7 月 16 日	IT 特区試験対策講座 第 1 回～第 6 回 (7:00 p m～11:00 p m)	15 名	甲府商科専門学校
平成 22 年 7 月 27 日～ 8 月 24 日	午後試験対策講座 第 1 回～第 6 回 (7:00 p m～10:00 p m)	15 名	山梨大学

3) 応用情報技術者試験対策講座

期 日	内 容	参加者	会 場
平成 22 年 8 月 22 日～ 10 月 9 日	応用試験対策講座 第 1 回～第 8 回 (9:00 a m～4:00 p m)	9 名	山梨大学

4) 高度 I T技術者研修

期 日	内 容	参加者	会 場
-----	-----	-----	-----

平成 22 年 11 月 27・28 日 12 月 11・12 日	Ruby 技術者認定試験対策講座 ・ Ruby 早わかりセミナー ・ 実践 Ruby on Rails Web アプリケーション開発	14 名	システムイン ナカゴミ甲府校
---	---	------	-------------------

④ ライブ研修

期 日	内 容	参加者	会 場
平成 22 年 11 月 22 日～ 12 月 22 日	クラウドコンピューティング超入門 外 8 講座	44 名	アイメッセ山梨
平成 23 年 1 月 11 日～ 1 月 31 日	アジャイル開発プロセス講座 外 8 講座	7 名	アイメッセ山梨

⑤ 教育支援事業

産業能率大学主催の「通信研修」受講に対する助成。

企業数	受講者数	受講金額	助成金額
1 社	3 名	¥51,450 円	－円

5. 事業推進委員会活動（委員長：清水理事）

地域経済の活性化・中小企業の経営改善・県民生活の向上を図るうえで、ICT利活用の促進は重要な要素であることから、各分野におけるICTの導入を目指して、総務省、経済産業省等、国が行うモデル・実証実験事業の公募に対して、当協会員が連携し、積極的に企画・提案し、受注出来る環境整備を進めてきた。

山梨県においては、産業振興施策の柱として、産・学・官の連携を推進することにより、ICT産業の振興に力を注いで頂いていることから、当協会も、「(財)やまなし産業支援機構」と連携し、ICTベンダー企業とユーザー企業とのマッチングを促進し、ビジネスチャンスの拡大を図ってきた。

① 総務省「ユビキタス特区事業」の受託

「携帯電話を利用した独居高齢者・軽度身体障害者向け緊急通報システムの開発と実証」の受託（平成22年度継続事業）

産・学・官連携事業として、山梨県、山梨大学の支援を頂き、会員企業によるコンソーシアムが、企画・提案し、当協会は検討委員として参画するとともに、ビジネスモデルとして活用を推進するため特別委員会を設置し支援してきた。

② 事業実施コンソーシアムの設置

本年度は、「農業部門」「スポーツ部門」の2分野にそれぞれ1チームのプロジェクトを立ち上げ、企画事業の採択に向けて、山梨県、山梨大学、山梨学院大学と連携して検討を進めてきた。

その結果、「農業部門」においては、平成23年度の実施に向け具体的な検討に入ることとなり、「スポーツ部門」においては、継続して対応を進めていくこととする。

③ 2010山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ出展

期 日	内 容	会 場
<p>平成 22 年 11月 18～20 日</p>	<p>マルチメディアコーナー出展企業：31社（43コマ） 「ふれあいペンダント」実証実験展示コーナーの設置 独居高齢者の安心・安全見守り対策として、「ふれあいペンダントシステム」が設置されているが、携帯電話の普及により、これまでの固定電話による緊急通報システムに、携帯電話の導入は避けて通れない状況にあるが、現在、緊急通報の窓口となっている広域消防本部の業務の急増により、これまでのシステム運営では困難な状況となっている。 こうした状況を踏まえ、時代に即応したシステムの構築に向けて、産・学・官が連携し、総務省の「ユビキタス特区事業」の委託を受け、「ふれあいペンダントから携帯電話へ移行するための実証実験」を実施している。 その成果を展示することにより、新システムへの移行に向けて理解を深めるとともに、体験することによって、安全を確認して頂き、導入に向けて技術の確認を行った。</p> <p>ICT利活用. 講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットは経営を変える」岩田 薫 氏 11月18日 午後1時～2時 ・「企業戦略とホームページの活用」伊藤 三喜 氏 11月19日 午後1時～2時 	<p>アイメッセ山梨</p>
	<p>IT タスクフォース (IT よろず相談室) コーナーの設置 「IT コーディネータ山梨」と連携し、来場者の抱えている IT に対する疑問に答えることにより、IT ビジネスの推進を図った。 また、「(財) やまなし産業支援機構」と協同し、経済産業省が推進する「ビジネスマッチング事業」を実施した。</p> <p>協会 PR パンフレットの配布とアンケートの実施</p>	

④ 「ビジネスマッチング事業」の実施

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 11 月 18～20 日	「2010 テクノフェア・マルチメディアエキスポ」に I Tベンダー 9 社のブースを設置し、製品の展示及 びプレゼントコーナーにおいて製品の紹介を行っ た。 来場者：地域ユーザー約 80 人	アイメッセ山梨

〈出展企業と出展システム一覧〉

タモンテン (株)	オリジナルのホームページ制作・自分で簡単に更 新が可能なホームページ制作
イーシステム	ホームページ構築の CMS である、M o v a b l e T y p e のご紹介 他
(株) トランゴ	トランゴ CMS ネームレスタワー
(株) シップス	バーコード活用ソリューション (ポカよけ、入出 庫管理、在庫管理、進捗管理)
(株) ネオシステム	i P a d アプリ、A n d r o i d アプリ 他
(株) ブリリアント	勤怠管理システム「勤管職」
メディアデコ コンサルティング	WEB 作成、ブランド作りコンサルティング 他
C&ストラテジコンサルティング (株)	WEB マーケティング、コンサルティング 他
アシストプロジェクト	パソコン経理業務指導、入力代行 他

⑤ 「ふれあいペンダントから携帯電話に移行するための実証実験」の実施

・緊急通報システム実証運営委員会検討経過

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 8 月 19 日	第 1 回会議 ・これまでの経緯及び事業内容の説明 ・ワーキンググループの設置についての検討、承認 ・今後のスケジュールについて	山梨大学
10 月 21 日	第 2 回会議 ・ワーキンググループ報告 ・市町村実務担当者 WG 見守りセンター設立について ・システム WG システムの画面展開の説明 ・見守りセンターWG YSA 内の特別委員会設置について ・実証実験計画書についての説明 ・公開実験についての説明	山梨大学

11月10日	第3回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ報告 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村実務担当者 WG アンケート結果について ・システム WG デモ内容の説明 ・見守りセンターWG 通報窓口の一元化について 運営マニュアル素案の説明 ・緊急連絡実務担当者 WG 座長選任 ・成果報告書目次構成の説明、承認	山梨大学
12月20日	第4回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ報告 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村実務担当者 WG アンケート結果について ・システム WG デモ内容の説明 ・見守りセンターWG 通報窓口の一元化について 運営マニュアル素案の説明 ・緊急連絡実務担当者 WG アンケート結果について ・総務省中間報告について ・地域支え合い体制づくり事業について	山梨県庁
平成22年 2月18日	第5回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ報告 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村実務担当者 WG アンケート結果について ・システム WG 実証実験結果の報告 ・見守りセンターWG 法人設立について ・緊急連絡実務担当者 WG アンケート結果について ・成果報告書作成の中間報告	山梨県庁
3月10日	第6回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ報告 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村実務担当者 WG ・緊急連絡実務担当者 WG 小ワーキングの打ち合わせ結果について ・システム WG 実証実験結果の報告 ・見守りセンターWG 事業化についての進捗状況 ・緊急連絡実務担当者 WG アンケート結果について ・成果報告書について	山梨県庁

・「市町村実務担当者ワーキンググループ」開催経過

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 9 月 14 日～ 平成 23 年 3 月 3 日	第 1 回～第 5 回 ・実証実験の実施について ・YSA 安心安全見守りセンター設立について ・アンケート調査の実施について ・「マルチメディアエキスポ」への出展について	アイメッセ山梨 人材開発センター

・「緊急連絡実務担当者ワーキンググループ」開催経過

平成 22 年 12 月 3 日～ 平成 23 年 3 月 3 日	第 1 回～第 3 回 ・実証実験について ・アンケートについて ・市町村実務担当者WGとの連携について	山梨県庁 人材開発センター
--	--	------------------

・「システムワーキンググループ」開催経過

平成 22 年 11 月 5 日～ 平成 23 年 3 月 2 日	第 1 回～第 3 回 ・システムの概要について ・電波強度実験について ・高齢者の携帯操作について ・実証実験について	山梨大学
--	---	------

・「緊急連絡実務担当者・市町村実務担当者 小ワーキンググループ」開催経過

平成 23 年 2 月 8 日～	甲府市消防本部・笛吹市消防本部・大月市消防本部・ 峡南消防本部・富士五湖消防本部・東山梨消防本部・ 都留市消防本部・上野原市消防本部・峡北消防本部及 び関係市町村 ・現行の運用について ・見守りセンターを利用した際の運用について	各広域消防本部
---------------------	---	---------

・「市町村・消防本部訪問聞きとり調査」経過

平成 22 年 11 月 10 日～ 24 日	第 1 回～第 9 回 ・「緊急連絡実務担当者ワーキンググループ」の開催 関係市町村 ・見守りセンターの窓口一元化について	各広域行政組合消 防本部 関係市町村
-------------------------------	--	--------------------------

・「見守りセンターワーキンググループ」開催経過

平成 22 年 7 月 5 日	第 1 回～第 29 回 ・見守りセンターの運営組織について ・ユビキタス特区事業の実行組織について ・緊急通報システム実証運営委員会依頼・WG座長依頼 ・ボランティア組織の考え方について ・運用業務フロー案について ・組織の人員構成について 他	(株)サンテレコム
--------------------	--	-----------

⑥ 部会活動

・電気通信部会

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 5 月 10 日	・電気通信部会 今後の部会活動について	協会会議室
5 月 24～28 日	・県庁本庁関係各課・出先機関への要望活動 ・県との防災支援協定について意見交換	県庁・出先機関 情報政策課

・機器・ソリューション部会

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 5 月 19 日	・部会長・事業委員長会議 今後の部会活動について	談露館
5 月 28 日	・事業委員会との打合せ 今後の連携事業の実施について	人材開発センター

6. その他

①「山梨県 ICT 産業振興協議会」への参画

山梨県が、本県経済の活性化を図るため、県内 ICT 産業の振興、ICT 分野における産学官連携事業の促進を目指して設置した「山梨県 ICT 産業振興協議会」及び関連分科会の委員として、各種事業の企画・立案に参画するとともに、共同して事業を実施した。

・山梨県 IT 産業推進協議会

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 5 月 20 日	第 1 回 山梨県 I C T 産業推進協議会 ・設置要領の一部改正について ・各分科会の検討状況報告について ・平成 2 2 年度の取り組み方針について	山梨県庁
9 月 8 日	第 2 回 山梨県 I C T 産業推進協議会 ・各分科会の検討状況について Ⅰ 研究開発・産業振興分科会 Ⅱ 人材育成・産学官連携分科会 ・今後の取り組み方針について	山梨県庁
平成 23 年 3 月 28 日	第 3 回 山梨県 I C T 産業推進協議会 ・各分科会の検討状況について Ⅰ 研究開発・産業振興分科会 Ⅱ 人材育成・産学官連携分科会 ・今後の取り組み方針について	山梨県庁

(研究開発・産業振興分科会)

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 8 月 31 日	第 1 回 研究開発・産業振興分科会 ・平成 2 2 年度の各事業の執行状況について ・今後の取り組み方針について	山梨県庁
平成 23 年 2 月 4 日	第 2 回 研究開発・産業振興分科会 ・平成 2 2 年度の各事業の執行状況について ・今後の取り組み方針について	山梨県庁

(人材育成・産学官連携分科会)

期 日	内 容	会 場
平成 22 年 8 月 30 日	第 1 回 人材育成・産学官連携分科会 ・平成 2 2 年度の各事業の執行状況について ・今後の取り組み方針について	山梨県庁
平成 23 年 2 月 1 日	第 2 回 人材育成・産学官連携分科会 ・平成 2 2 年度の各事業の執行状況について ・今後の取り組み方針について	山梨県庁

② 委嘱委員会等委員

委 員 会 名	主 催	委員名
(社)情報サービス産業協会 (評議委員)	(社)情報サービス産業協会	(代)河澄専務
山梨県地域情報化推進協議会 運営委員	県情報政策課	飯室会長
山梨県 I C T 産業推進協議会 (分科会) I C T 産業振興分科会 人材育成分科会 産学連携分科会	県情報産業推進室	飯室会長 中込副会長 長坂副会長 河澄専務 他
テクノフェア&マルチメディアエキスポ実行委員会 (幹事)	県情報政策課	河澄専務
山梨県職業能力開発運営協議会 (委員)	県職業能力開発課	河澄専務
工業技術センター運営委員会	工業技術センター	河澄専務

県立産業短期大学校教育振興会 (副会長) (理事) (監事) (書記)	県立産業技術短期大学校 教育振興会	飯室会長 中込副会長 長坂副会長 河澄専務
---	----------------------	--------------------------------